

第2641回 例会

2016. 6. 2

会長あいさつ



関口 和夫会長

皆さんこんにちは。本日も、ご出席ありがとうございます。大阪天満橋ロータリークラブ永田秀次様、ようこそお出で頂きありがとうございます。米谷記念奨学生のチョウドリ・イムル君ようこそ。当クラブの神山会員が28年春の褒章において受賞されました。おめでとうございます。

ソウルの国際大会に会員親睦旅行として、行ってまいりました。参加された会員の皆さん、お疲れ様でした。日本より多くロータリアンが参加して、交流が行われました。ガバナートナイトは、会場が満席となりました。5月27日に当クラブは成田空港発の大韓航空機で出発しました。上尾北ロータリークラブなどの多くのロータリアンが乗った羽田発の大韓航空機のエンジンの炎上のニュースをソウルで聞いて、もしかしたら逆になっていたかも知れないと思いました。

さて、今日はロータリー親睦活動月間です。私の年度も後5回の例会となりました。残された例会を、楽しみたいと思います。

今日は、ロータリー国際大会の歴史について調べてみました。第1回大会は1910年シカゴで行われました。登録者数60名でした。今回のソウルは第107回大会となります。アトランタ大会は第8回で、登録者数2,588名でした。その後1970年に、アトランタは第61回大会で登録者数は前回の5倍の10,803名となっています。日本では1961年に東京で第52回大会が、初めて行われました。登録者数は23,366名で、海外から7,400名の参加がありました。1978年の第69回大会が2度目の東京で行われました。登録者数は39,834名でした。そして、第95回大会が大阪で行われました。登録者数45,381名となりました。この大会には、皆さんの中に参加された方がいらしゃると思います。ソウルは1989年の第80回大会が行われ、今回が2回目となります。27年前となりますが、参加された先輩の話をお聞きしました。アメリカが発祥のロータリークラブですが、アメリカで実に62回行われています。アトランタ国際大会の募集が始まりました。このサイトで、国際大会に参加する5つの理由が書かれています。(1) 奉仕への熱意をわかちあう。世界130カ国のロータリー会員が集まる国際大会は、旧友との再会を楽しみ、新しい友達をつくり、奉仕活動について語り合える絶好の機会です。(2) 元気なクラブづくりへの意欲を高める。(3) ロータリー財団

週報 No.2079
発行 2016年 6月9日
会長 関口 和夫
幹事 藤村 作
副会長 久保田 勲
副幹事 樋口 雅之
編集責任者・
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト
R.I.D2660地区
大阪天満橋ロータリークラブ
永田 秀次様
米山記念奨学生
チョウドリ・イムル君

6月16日 クラブフォーラム
(時間変更)
6月23日 卓話 深澤圭司会員
6月30日 最終例会
(時間・例会場変更)

Rotary AGEO ROTARY CLUB

100周年を祝う。(4) アメリカ南部を楽しむ。(5) ホスト組織委員会による特別ツアーイベントに参加する。とうたっています。国際大会に参加することにより、日頃行くことのない国や地域を知ることが出来ます。どうか皆さんもロータリー財団100周年を祝いながら、アトランタ国際大会に参加して頂ければ幸いです。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

ロータリー米山記念奨学金授与



米山記念奨学生 チョウドリ・イムル君
こんにちは。5月22日にロータリー米山・学友バス旅行に行ってきました。大塚バスターガバナートにも同行していただいて、ロータリーについてのお話もでき、米山梅吉翁のお墓参りもできて充実した1日でした。

幹事報告

藤村 作幹事
◆国際大会お疲れ様でした。幹事として今回の旅行は、いいホテルに泊まれてほっとしています。皆さん無事に帰ってこれたので良かったと思います。ありがとうございます。

◆6月のロータリーレートは1ドル＝110円です。
◆次年度のセミナー関係のご案内です。財団部門セミナーは7/16(土)に春日部市民会館小ホールで開催されます。米山記念奨学部門・学友部門セミナーは7/17(日)にラフレさいたまで開催されます。青少年奉仕部門セミナーは7/30(土)に越谷サンシティホールで開催されます。該当される方は参加をよろしくお願いたします。
◆今日配られた『ロータリーの友』の52ページ(タテ組み25ページ)に「認知症施設にウッドデッキを寄贈」という当クラブの奉仕活動が写真つきで掲載されていますのでご覧いただけると幸いです。

委員長報告

樋口雅之 次年度幹事
1つめは本日6月2日夜6時半より、なすびで「次年度委員長予定者会議」が開催されます。委員長予定者の方は、ご参加のほどお願いいたします。

2つめは次年度の「年度計画書」で委員長方針の提出ご協力をお願いします。よろしくお願いたします。

クラブ広報委員会 長沼大策委員長
ただいま次年度の「年度計画書」を作っています。会員名簿でご住所、電話番号など変更箇所がある方は取り急ぎご連絡をいただけると幸いです。

例会主題

会員卓話 芳賀 克久会員

今日はこのような機会を設けていただき誠にありがとうございます。この場をお借りして「私」という人間を知っていただくため、自己紹介のような内容でお話したいと思います。

私は1984年(昭和59年)3月28日に、旧岩槻市の丸山記念総合病院で生を受けました。身長53cm・体重4392gという大きざでした。体重が4000gを超えると巨

Rotary AGEO ROTARY CLUB

大児というらしく、日本での巨大児の割合は2～3%ほどらしいです。母体への影響もあり、出産のリスクは通常より高まるそうで、生まれる前から母親に迷惑をかけてきたのだと思います。

私の兄弟は1つ上の兄と、6つ下の弟の男3兄弟です。私は次男坊として、時には兄の真似をして、時には兄を反面教師として育ってまいりました。

人生の中で1つ目のターニングポイントになったのは高校受験でした。兄は私立高校へ通ったので、親から言われた訳ではないのですが家計への配慮から私は公立高校に行こうとひそかに決意していました。ちなみに中学時代の私の成績は、学年の順位で中くらいでした。高校への進学の前、大学進学のことを念頭におき、なるべく国立大学・埼玉大学の2部に行きたい、そのためには高校で上位の成績を残し埼玉大学への推薦枠をもらおうと計画をしました。なので高校を選択する際に、自分の学力に合った高校で上位にも推薦枠はもらえないので、あえてランクを下げ、成績上位で推薦枠をもらうことに一筋の光を見だし、おかげさまで大学に進学し卒業するに至りました。

2つ目のターニングポイントは、大学2年の冬の出来事です。私の家族は父・母・3兄弟と、母方の祖母の7人で暮らしていました。2月の、とある深夜に祖父が胸の苦しみを訴え、私が寝ている間に母が祖父を病院に連れていきました。その後、母から「祖母を連れて病院に来てほしい」と連絡があったので見た光景は壮絶なものでした。処置室で寝かされていた祖父にドクターがまたがり、心臓マッサージをしていたのです。母は祖母の姿を見つけると泣きながら「もうやめてもらっていいよね」と言いました。心臓マッサージをやめることは、死を意味します。ドクターは祖母の意思確認を待っていたのです。その時、人が死ぬ時というのはいかなるものなのだと感じました。

そうこうするうちに葬儀の手配をしなければならなくなりました。私は何もわからずおろおろしているだけで当時の記憶もあまりありませんが、そこで初めて「葬儀」に携わる仕事があることを知りました。1つ覚えているのは、祖父を無事送ることができたことに感謝をしているということです。私が今、この仕事を選ぶきっかけになった出来事と言えます。

Rotary AGEO ROTARY CLUB

3つ目のターニングポイントは、社会人になって6年目、平成23年6月でした。母のお話です。母は約15年、虚血性心疾患という心臓の病気を患っており、6月初めに定期検診のため病院に行ったらドクターから入院をすすめられ、入院後のお見舞いでも普通に起き上がらず談笑していたのですが、容態は快方に向かわず悪化の一途をたどり、病室がICUに移され会話もできない状態になりました。入院から1週間経った6月13日に母は静かに息を引き取りました。53歳でした。あまりにもあつがなく受入れがたい事態に陥りました。

祖父が亡くなった時はただ悲しんでいただけでしたが、今回は子として動かなければなりません。今の会社に勤めていたこともあり、流れはわかっていたのですが、直面すると頭が働かず、まずは母を自宅に連れ帰る手配をして、葬儀の段取り・関係者への連絡をしました。母の葬儀を執り行うにあたり、一番困ったのは誰に連絡をしたらよいかです。母は生前、保育士をしており友好関係が広い人でしたので家族葬という選択肢はありませんでした。職場には直接お出向いお知らせし、友人の方には母の携帯電話のメモを頼りにお知らせしました。この連絡作業が葬儀の準備の中で一番大変だったことです。私は今の会社に勤め11年目を迎えています。母の死を境に葬儀についての考え方が変わったように思います。それまでは無難に滞りなく、クレームのないような細心の注意を払い、亡くなった方を無事に送り出す、感謝をしてもらえれば仕事で使命だと思っただけで、母の葬儀で遺族の心の痛みを再認識するとともに遺族の大変さを知りました。大きく変わったのは遺族に寄り添う気持ちです。自らの体験で感じたことですので、決してそれを口には出さなくても、寄り添う気持ちで接する事で遺族の思いを汲み取り、不安を取り除き、安心していただけるのではないかと思います。葬祭業に従事する者として、改めてプロ意識を見直させた出来事でした。

さて、私が今思うのが「今ここにいる」ことは様々な偶然の積み重ねで「今ここにいる」こと。高校・大学の進路選択、上尾でアルバイトをして妻に会ったこと、セレムにという会社に勤めたこと、この偶然の積み重ねは奇跡だと思います。そして皆様に出会えたのもご縁あつてのことだと思います。若輩者ですが私なりに頑張って参りたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

余談ですが私が野球を始めたのは小学3年生の時です。高校の野球部の監督は新井監督といって上尾高校出身でした。高校2年の夏からは主将を任せられ、これは大学の推薦枠になるためにメリットになりました。いまこのロータリークラブで野球できることをたいへん嬉しく思っています。

私は野球も好きですがサッカーも好きです。私が勤めるセレモニーは浦和レッズのスポンサーもしております。私はゴール裏で観戦しております。ご興味がある方はお声掛けいただけると幸いです。

なお仕事柄のお話になりますが、私は32歳ですがエンディングノートを書いてみます。母がエンディングノートを残していたら、残された遺族は、もう少し母の遺志を知ることができたからです。書店で販売していますのでどのような葬儀にしてほしいか、誰に参列してほしいかなど、もしもの時に考えておいた方が良ききっかけにな

るかもしれません。ちなみにセレモニー上尾ホールではご来館いただいたお客様、見学にお越しになったお客様にエンディングノートを差し上げていますので、ご興味がある方はお声掛けください。

本日はご清聴いただきありがとうございました。



芳賀会員、卓話ありがとうございました!

ソウル国際大会 2016.5.27~30

第2640回例会は親睦旅行＝ソウル国際大会への振り替えでした。参加いただいた皆様、お疲れ様でした。



スマイル 国際大会参加者一同 ¥10,000 楽しく行ってきました。

- 関口会長/久保田副会長/藤村幹事/樋口副幹事/武重会員/岡野会員/大塚信部会員/小林会員/富永会員/齋藤重美会員/井上会員/萩原会員/尾花会員/渡邊会員/大木会員/大塚崇行会員/島村会員/齋藤博重会員/深澤会員/須田会員/野瀬会員/長沼会員/齋藤修弘会員/門崎会員/春日会員/芳賀会員

出席 会員数 37 出席数 27
欠席 欠席数 10 (%) 72.97
前々回確定 欠席数 4
修正(%) 89.19 (M・U) 9